

総まとめ号

想 い

OMOI



- 寺院紹介「真宗高田派 正太寺」
- 「神棚・神式」のご説明／P6
- 「お盆飾り」のご説明／P12

- 「角香炉」の使用について／P15
- 「仏壇・仏具」のお取り扱い方／P16
- 「掛軸」のご説明／P20
- 「念珠」のご説明／P24



昭和23年創業 お仏壇のたなか
(株) **田中仏具店** グループ

〳二代目の想い〵

昭和四十二年八月 東京でお仏壇の製造修業の折り、父の病状が思わしくない為急遽豊川へ戻ることになりました。

昭和四十三年十月 父が他界したため家業の仏壇店を継ぎ仏壇の製造販売に取り組みました。母が販売、私が製造と夜は位牌の文字彫と日夜励んでまいりました。

昭和五十二年に今の場所に新店舗を出させて頂きました。

地域一番店を目指し常に夢見てやってきました。

平成十七年頃から時流の様子も少しずつ変わりました。

平成十七年十二月 母が他界し自分自身が今まで親の愛情に育まれ時に信仰心は少年の頃からお参りなどはよく連れて行かれました。

自分はお仏壇販売、又葬祭業と供養産業を携わる者として

経営に一番大切な事は誠実でなければなりません。約束は絶対に守る。

『経営者は常に大きな夢を持って』書いた本を読ませて頂きました。

夢を持つ事によって、一つの目標が立ちます。

目標に向かって毎日少しずつ努力する事。

私自身、常に仕事に追われる毎日でしたが、令和二年九月に娘に後を譲りました。

少しでも早く業務を覚えてもらえる様に協力して行く覚悟です。

今、自分に心掛ける事は 素直さと謙虚さを意識しています。

令和七年十一月吉日



創業者
田中 吾一



初代会長
田中 つばき



株式会社 田中仏具店
取締役会長 田中 衛

まひろ
八十一歳

〳祈る想い〵

小学生の頃から毎月二十八日(祖父の祥月命日)の夕方はお寺様が我が家に見えて家族揃って御経を読んできました。お土産を頂いたら仏様へ。通知表を持ち帰ったら仏様(仏壇)へ置く。我が家のコミュニティの場は仏壇だった記憶があります。

仏壇(神道壇)の有る家には **現在・過去・未来**があるとお話を聞いたことがあります。

過去 先祖(故人)を想い、懐かしく感謝の気持ちで話しかける癒しの場所

現在 自身の目標を伝え、前向きな心に磨きをかける場所

未来 子供、孫の健康・成長を祈る慈愛の心に満ちた場所

お仏壇に向き合い **祈る想いは〴慈しみの心(自利利他)の精神〵が養われる機会に思えます。**

長年お仏壇を守ってみえるご家庭の方はその歴史をご本尊様がしっかり見てきて下さった重みがあります。

仏間(畳)のないフローリングのお家が増え、お仏壇も家具のようなモダンなデザインに変化しています。

時代が流れても **祈る想いを見失わない様に、先祖を敬うことが出来るように仏壇が形を変えて守っています。**

ご葬儀も同様、効率的・簡略化と、式の形も変化していますが命と向き合う儀式においてはその方の人生を敬い重んじてさしあげてください。

赤子の産声が尊く感じたように、生命の終わりを迎えるその時はどうか大切にお見送りなさってください。その方の人生を労い、楽しかった思い出話をたくさん聞かせてあげてください。

目には見えないご先祖様もきっと見守っていらっしゃる気がします。

勝手を申しますが、今号で会報誌最後とさせていただきます。皆様にはご指導・ご鞭撻賜りました事 **心より感謝申し上げます。** どうぞこれからも **幸多き人生** を歩んでいただけるよう心よりお祈り申し上げます。



株式会社 田中仏具店
常務取締役 田中 廣恵
代表取締役社長 田中 己喜

御寺院紹介

真宗高田派 正太寺



↑本堂までは、車椅子の方も参拝出来るようにスロープが設置されています。山門入口付近(右側)にベット霊園、本堂までの境内には樹木葬・合同墓が設置され緑豊かな癒しの空間になっています。



↑親鸞聖人(しんらんしょうにん)
激動の鎌倉時代を生きた浄土真宗の宗祖。
“南無阿弥陀仏”が阿弥陀如来の本願であることを説き、称名念仏を広められました。
ひとりでも多くの人に伝えようと、和讃や手紙など数多く残された。



↑本堂中央にお祀りされた阿弥陀如来様
救いを求める者すべてを救済し
極楽浄土に導いて下さる仏様。
限りない命と限りない光(知恵)を持って
人々を救い続けることから“不可思議光仏”
“無量寿如来”ともいいます。



↑樹木葬・合同墓の“樹木葬さくら”が好評につき新たに第2の樹木葬さくらを境内北西部に建設されました。

七高僧

本堂内陣の左手にある七高僧絵図です。これは浄土真宗の教えをあきらかにされたインド・中国・日本に現れた高僧方です。聖人はこれらの方々に依る。本願他力の念仏の教えをいただくことができました。



→本堂に掛けられる貴重な掛軸

インド四〜五世紀 天親菩薩 てんじんぼさう	中国五〜六世紀 善導禪師 ぜんどうぜんし	日本十二〜十三世紀 源空聖人 げんくしょうにん
インド二〜三世紀 龍樹菩薩 りゅうじゅぼさう	中国五〜六世紀 曇鸞和尚 どんらんかうしやう	日本十二〜十三世紀 源空聖人 げんくしょうにん
中国六〜七世紀 道綽禪師 どうしやくぜんし	中国五〜六世紀 曇鸞和尚 どんらんかうしやう	日本十二〜十三世紀 源空聖人 げんくしょうにん
日本十〜十一世紀 源信大師 げんしんたいし		



←正太寺様の境内に咲いていた蓮
午前10時半に撮影した姿
美しいピンクの色目に
思わずシャッターを
切りましたが
その30分後には花弁が
落ちていました。
なんとも儚い蓮の命を
感じました。



↑障子・引戸修復は生地の状態まで戻し漆塗・箔押し、金具部分は金メッキに仕上げさせていただきました。取り付け作業においては生地の変形等を修正しながら既存の枠にはめ込みました。



↑真鍮仏具は酸化によって黒くなるためセラミック加工を施し、輝きを維持できる仕上げに修復させていただきました。



↑阿吽の呼吸 獅子と牡丹
本堂の屋根に獅子と牡丹どちらも阿吽の相をしています。牡丹の花から滴る夜露にあたることで獅子は身体につく害虫を防げるとか。牡丹の花の下は獅子の安住の地。夜露の仏法に、害虫を煩惱にたとえて、お寺が私たちの安らげる場であることを表しています。



第十五世住職 おおこうど 大河戸 悟道

真宗高田派 正太寺

住 〒440-0016 豊橋市牛川町字西側16番地

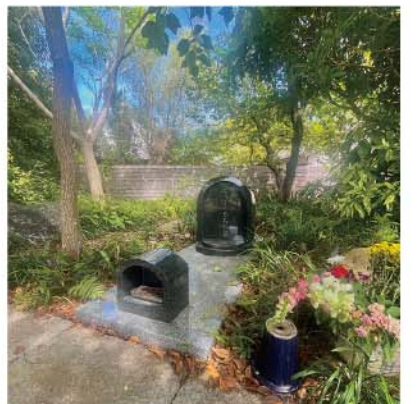
TEL 0532-54-9421

FAX 0532-52-7780

HP <https://shotaiji.com/>

shotaiji@gmail.com

宗 真宗高田派



↑ベットの共同墓“どうぶつたちの墓”
緑に囲まれた素敵な空間です。
ベンチに腰かけてゆっくりお話し出来たり
夜はライトアップされる演出もあります。

神棚・御霊舎のまつり方



神棚 ※御霊舎より高い位置

～神棚の位置～

居間等の南向き・東向きの清らかで
明るく静かな高いところ。
大人が見上げる位の高さにおまつりします。

～お札のまつり方～

神座の順位

中央を最上位とし、次は向かって右、
最後に左となります。



三社(扉が三枚)の場合

- ①中央に神宮大麻(天照皇大神宮…皇室祖神として伊勢神宮にまつられている神様)のお札をおまつりします。
- ②向かって右に氏神さま
氏神さま…ご自身がお住いの地域の神社(氏神社)
- ③向かって左に崇敬する神社
崇敬神社…地縁・血縁関係以外の個人が特別に信仰される神社

一社(扉一枚)の場合

- 一番手前に①神宮大麻、その後ろに②氏神さまのお札、
③崇敬する神社のお札を重ねておまつりします。

- ① 神宮大麻
(天照皇大神宮)
- ② 氏神さまのお札
- ③ 崇敬する神社のお札



◎一年間お守りいただいた古いお神札は
感謝をこめて、氏神さまに納めましょう。

御霊舎 ※神棚より低い位置

**祖先のおまつりは、
神棚とは別に御霊舎で行います。**

これは仏式でいう仏壇にあたるものです。
祖先の霊が鎮まる霊璽を納めるところです。

御霊舎は神棚とは別の場所に設けますが、間取りなどの
関係で神棚の下や隣に設けることもあります。
(なるべく真下は避ける)
隣に設ける場合は御霊舎の位置を低くしてください。

祖霊と年中行事

日本にはたくさんの年中行事がありますが
その中でも祖先の霊を親しくおまつりする特別な日が少なくありません。
“盆と正月が一緒にきたようだ”とは、嬉しい事が重なった時などに使いますが
祖先の霊との交流が叶う日だからこそ、特別な日として大切にされてきたそうです。

～お正月～

新しい年を祝う正月は、日本人にとって最も身近な年中行事です。
お正月も古くは、祖先の霊を迎えてまつる行事でした。
お正月には各家庭で門松を飾り、鏡餅を用意しますが
この門松は、祖先の霊とも考えられている年神さまが寄り付く場所(依り代)として飾られたものです。
また、鏡餅はもとも年神さまに供えるお供え餅のことを言い
このお供え餅をその他の供え物と一緒に煮たものが雑煮です。
年の初めに訪れる「年神さま」は、一年の幸をもたらしてくれると信じられ、お正月はこのほか大切な行事でした。

～年神さま～

年神さまは稲霊とも言われていますが、それは日本人と稲との深いつながりがあるからです。
稲は枯れてしまっても初に新しい生命を宿し、それがやがて芽をふいて穂をもたらししてくれます。
日本人は、年も稲と同じように、一年一年新しく生まれ変わると考えてきたのです。
年(稲の穂とし)が生まれ変わるということとは
生命のつながりを確認することでもあり、日本人にとって大変におめでたいことだったのです。 Ⅱ氏子のしおりⅡより

神様・仏様・自然界・動物・植物

目には見えない、話し伝えることの出来ない存在(命)を私たちが理解して想いを組みとってあげたら
きっと笑顔に包まれた幸せな日々が続くのではないのでしょうか。

一人でも多くの方が穏やかに新しい年をお迎えされますように…会報誌より想いを込めて。

株式会社 田中仏具店
代表取締役社長 田中 己喜

神棚・神式

⑤かがり火

肥前風土記に“燎火”^{りょうび}とあり、万葉集には“可我里”^{かがり}とあり、古くから夜間の公事・神事・警固・漁獵など屋内外の照明に用いられていましたが、現在では神事など伝統行事にかかせないものとなっております。また、神社ではかがり火を焚くことで無病息災を祈願しています。



⑥三宝 (サンボウ)

胴の三方に眼象と呼ばれる宝珠形の穴を削ったところから付けられた台。神事に用いられ、主として神饌をのせて使用します。

手前に縁の継ぎ目・
縋し目を向けて飾ります。



⑦水玉 (ミズタマ)

古くは“盥”^{もひ}、“椀”^{まり}と称し、古くから水を盛るのに使用されました。
神さまにお水をお供えするための土器。

お供えの時は蓋を右に倒しましょう。
(蓋を閉じたままでは下げているのと同じです。)
お水は毎日取り換えますが、お下がりには下水に流さず、植物に与えるなど命を繋ぐ形が望ましいです。



⑧平次 (ハイジ)

神前には一対で三宝の上にのせてお供えします。
お神酒を入れます(清酒が望ましいです。)



お供えの時は蓋を外します。

⑨ヌリ皿

古くより饌(米・塩)を盛る器として用いられました。
向かって右にお塩・左に洗米をお供えします。
1日・15日に取り換えます。神さまのお下がりには食して頂くのが理想です。



～日々のおまつり～

神さまにお供えするものを「神饌」^{しんせん}といいます。

神さまには毎日、朝食前に洗米・お塩・水お供えします。
三宝か折敷にのせて、中央に洗米・向かって右に塩・向かって左に水。榊の水も毎日取り換えます。



～お参りの作法～ 神社にお参りする時と同様。二拝二拍手一拝というのが基本です。

まず神前に進んで軽く頭を下げてから二拝(深くお辞儀をする)し、次に拍手を二度、次に一拝します。
神前を退く時には、また軽く頭を下げます。一家の主人が、毎朝顔を洗い・口を漱いで・心身共に清めた後で、お供物を供え厳かに拝するのが良いでしょう。

神殿の調度品と名称



毎日のおまつりは神棚同様、お米・お塩・お水になります。
毎年の命日・式年祭の時は三宝の数を増やして酒・餅・魚・海鮮・野菜・季節の物・故人様が好む物をお供えしてください。

※神具の飾り方、三宝の数などは
宮司様によって異なります。

①真榊 (マサカキ)

太古、天の石窟での“五百津真賢木”^{あめ いはや いほつまさかき}の故事に淵源し、後に景行紀・仲哀紀に記載する神夏磯媛^{かものしひめ}や五十迹^{いそと}の忠実に基づく。
近く明治天皇の即位礼に則り明治八年神社祭式に社頭の装飾として創定されたもの。三種の神器である鏡・勾玉・剣が掛けられています。
祭壇の向かって右側に鏡と勾玉、五色絹・左に剣と五色絹を飾る。



三種の神器 歴代の天皇に伝わる皇位を示す3種類の宝物

- ①鏡(八咫鏡 やたのかがみ) 伊勢神宮にまつられています。
- ②剣(草薙剣 くさなぎのつるぎ) 熱田神宮にまつられています。
- ③勾玉(八咫瓊勾玉 やさかにのまがたま) 皇居に安置されています。

②燈籠 (トウロウ)

灯火をともし用具。
素木で主として殿上用である。一対で飾ります。
灯火は神域を表し、魔除けの意味があると考えられています。



③神鏡 (シンキョウ)

御霊舎に置く場合…御神体・神さまが宿る御霊代として必要です。
神棚に置く場合…荘厳な雰囲気を保つための飾り。
鏡を通して自分を見つめ襟を正す機会を与える。
(拝礼の際、清らかな心で神さまをお迎え出来ているのか、己を振り返る役目があると言われています。)



④榊立 (サカキタテ)

神さまにお供えする榊を入れる器。
左右一対で飾ります。榊の先端に神さまが宿ると考えられています。
常にみずみずしい状態を保てるように**毎日水替え**をします。
※榊は枯れてしまう前に1日・15日のタイミングで新しい榊に取り換えしていただけると良いです。



神葬祭に参列した場合のお参りの仕方

熨斗袋の包み方

白黒の水引を選び**蓮の絵の印刷が無いもの**を選びましょう。
※ハスは仏式に使われます。
表書きは"玉串料"あるいは"御霊前"と書きます。
包みの裏のたたみは、弔事では上の折返しを上にかぶせて目を伏せた悲しみの状態を表します。
※年祭に参列する場合の包みも"玉串料"と書きます。



忍び手

神前と同様に二拝二拍手一拝でお参りすることになり変わりはありますが神葬祭での拝礼は、亡くなられた方を**偲び慎む心を表す**といった意味から**音を立てずに拍手**します。
これを忍び手と言います。



また、忍び手でお参りする期間は地方によって違いがあるようですがこの頃は五十日祭が終わるまでは忍び手でお参りするところが多いようです。

神葬祭の流れ

神葬祭とは神道式で行う葬儀の名称

日本固有の葬儀を土台に整えられた葬儀式です。

帰幽奉告(キウウホウコク)

神葬祭は、氏神さまに故人が亡くなった旨を奉告することから始まります。
家庭では神棚の前面に白い紙(半紙)を貼ります。
これは、**遺族が故人のおまつりに専念するため**です。

通夜祭・遷霊祭(センレイサイ)

家族や生前親しかった者が集まり、夜通し故人を偲びます。
本来、通夜は**故人の蘇りを祈るもの**でした。

通常、私たちが食している物(常饌)や生前の好物をお供えするのも、こうした意味からです。

古くは、霊と肉体が分離した状態が死であり、もし霊がご遺体に戻れば故人は生き返ると考えられていました。
かつて酒宴などを設ける地方があったのも、故人とともに食事をとることで霊を遺体に引き戻そうとしたからです。

葬場祭(ソウジョウサイ) ※告別式

最後のお別れをするおまつりです。

故人のために装飾された祭壇にお供え物を上げ、斎主による祭詞の奏上と祭員による誂歌が捧げられます。
祭詞には、故人の経歴、功績、人柄をたたえ、今後は祖霊となって**遺族を見守ってくださる**ようにとの**祈りが込められます**。

誂歌には故人を追慕し、御霊を慰め、会葬者の心を鎮めるなどの意味があります。
なお、弔辞、弔電などもこの時に読み上げ、生前を偲びます。
最後に、会葬者が一人一人玉串拝礼をして、故人に別れを告げます。



御霊舎のまつり方

祖先のおまつりは、神棚とは別に御霊舎で行います。

これは仏式でいう仏壇にあたるものです。
祖先の霊が鎮まる霊舎を納めるところです。
御霊舎には御櫓をすえ、霊舎を納めます。



※御霊舎より高い位置

毎日のおまつりは神棚同様、お米・お塩・水になります。
毎年の命日・式年祭の時は三宝の数を増やして酒・餅・魚・海鮮・野菜・季節の物・故人様が好む物をお供えしてください。



※神棚より低い位置

御霊舎は神棚とは別の場所に設けますが、間取りなどの関係で神棚の下や隣に設けることもあります。**(なるべく真下は避ける)**
隣に設ける場合は御霊舎の位置を低くしてください。

ご寺院様・宮司様をお迎えする際のおもてなし品

- ①おしほり お干菓子を召し上がっていただく前にお使いになります。
- ②穴あき茶托 一般的な茶托より少し高さがあることが特徴です。こちらはご寺院様・宮司様など功德を積まれた方へ対しての敬意を示した茶托です。
- ③お茶 お勤めの前に喉を潤していただきます。蓋付湯呑がお薦めです。(夏は汚れが入らない様に・冬はお茶が冷めない様にと心遣いが表される湯呑です。)
- ④お茶菓子 (お干菓子) 個包装されたものがお薦めです。その場で召し上がられなくてもお持ち帰りすることが出来ます。
- ⑤お懐紙 (お干菓子) お干菓子の下に敷きます。慶事と弔事で折り方が異なりますがお盆は弔事(上にくる面が左下がり)になります。



↑慶事の際
↑弔事の際

東三河エリアの盆飾り

～曹洞宗・禅宗・臨済宗・浄土宗・日蓮宗・法華宗・真言宗用～

～精霊棚の飾り方～ 毎年お飾りします。

- 01 折りたたみの机を設置します。白布をかける。
- 02 "まこも"を敷きます。
ご先祖様をお迎えする為の新畳なので毎年新調します。
- 03 五如来旗を吊るします。(施餓鬼会の後、お寺様から配布されます)
お盆期間中のご本尊様になります。
精霊棚の高い位置に吊るしましょう。
- 04 位牌を仏壇から出して棚に移動します。
向かって右が位が高い為、右側から初代様を並べます。
- 05 花立・火立・香炉も同様に移動させます。
大きな花瓶でお花をたくさん飾ってあげても喜ばれます。
- 06 供物をお供えします。(夏野菜・果物等お供えしましょう)
15日はお団子をお供えします。
お団子は帰られる際のお弁当になります。高月の場合は向かって
右に水菓子(果物)、左に干菓子(菓子)をお供えします。
- 07 牛馬を並べます。
馬は仏様を乗せて、牛は荷物持ちをしてください。13日(戻って来られる時)は内側に、帰られる時は外側にむけて飾ります。
- 08 水の子(餓鬼飯)をお供え。
蓮の葉の上に精米とナス(さいの目)・キュウリ(さいの目)を混ぜた物
餓鬼は喉が細いので細かいさいの目にして用意します。
- 09 お膳に湯呑・皿をのせて精進料理をお供えします。
※お皿の枚数は決まっています。(お食事は13日・14日・15日のみ差し上げます)餓鬼供養のため餓鬼飯、無縁仏様へはお膳をお供えする習慣があります。
- 10 はし木を切って箸を用意します。
箸は毎度毎度、新しく準備します。仏様の方に向けてお供えします。



↑ 無縁仏様



↑ まこも



↑ 牛馬



↑ お膳白皿セット



↑ はし木



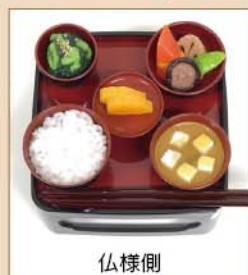
↑ 片口

※お寺様が施餓鬼経をあげに見える時に追加される小物

- ① 霊供膳(お盆用お膳・白皿・はし木は使いません)精進料理をお供えします。
- ② 片口 水を入れ、ミソハギの葉を浮かべておきます。お清めに使用します。

～お霊供膳の並べ方～

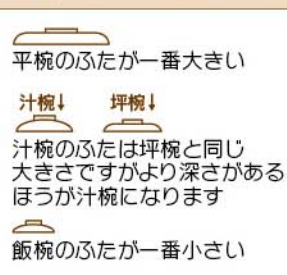
お膳の並べ方は、**ご寺院様、地域によって異なります。**ご確認の上、配置ください。



仏様側



仏様側



飯碗のふたが一番小さい

飯碗 メシワン
白米を盛ります。
汁碗 シルワン
ネギ(香りの強い食材)は抜きます。
平碗 ヒラワン
メインティツシュになります。
煮物3・5・7種にします。
坪碗 ツボワン
胡麻和え・豆(魔を滅する)等
高皿 タカザラ
漬物ふた切れ盛ります。

※お箸(手前)は仏様向けます。
※片付けの際は飯碗・蓋、合わせて
9個揃っているか確認しましょう。

お盆のしきたりは宗派によって異なります。こちらの資料はあくまでも参考として正しくは、菩提寺のご住職様にお聞きください。

湖西エリアの初盆飾り

～法華宗参照～

180センチほどの青竹を用意し**施餓鬼旗・五穀・素麺・ほうすきを結び**
※米、麦、粟、豆、黍(または稗)
初盆祭壇の後方に掲げます。※高さ目安2メートル
和室であれば長押や床の間の落とし掛けを利用して
固定されると良いでしょう。
これは霊の依り代として掲げ、秋の豊穡を祈願します。

- 01 初盆祭壇を設置し白布または金襴布を
掛けます。(レンタル品)

- 02 最上段にお位牌を安置します。

- 03 お位牌よりも下の段の両端にフルーツ・お菓子を
供物台に盛りつけて用意し、中央にはお膳をお供えします。
その他まこもを敷いて牛馬・牛馬さんの餌・夏野菜・
施餓鬼米・餓鬼飯・お水・水向け花などを支度します。
●13日～15日の3日間はお膳で故人の好物などのご馳走を
お供えし、はし木を切って足にしてなすの牛とキュウリの馬を
作りお迎えします。
●段盛は上段に積み団子・中段にお菓子・下段に果物をお供えします。
●お膳の上に器(白皿や素焼き皿)をのせて精進料理や素麺等を
お供えします。
●箸には"はし木"を使用し、仏様の方に向けてお供えします。
●餓鬼供養のため餓鬼飯、無縁仏様へはお膳をお供えする習慣が
あります。

- 04 経机を準備して防火マットを敷いて前香炉・火立、
おリンをのせます。
※経机は本来、経本を置くための机です。
ご寺院様がみえる際は経本が置けるように整頓しましょう。

お盆のしきたりは宗派によって異なります。
こちらの資料はあくまでも参考として正しくは、菩提寺のご住職様にお聞きください。



↑ 初盆祭壇 レンタル品※家紋提灯は含みません。



↑ 初盆飾り例



↑ 段盛

↑ 餓鬼飯

※お寺様が棚経をあげに見えるときにお家で支度する物

- ① 霊供膳 精進料理をお位牌に向けて供えます。
- ② 餓鬼飯 なすとキュウリをサイの目に切り、生米と混ぜたものを蓮の葉に乗せて
供えます。餓鬼は喉が細いので食べやすいよう細かく切るのが良いと
言われています。
- ③ お水 お椀に水を入れ、水向け花(ミソハギ)を添えて餓鬼飯の隣に置きます。
お盆には先祖供養だけでなく、施餓鬼(せがき)法要が行われます。
施餓鬼では、餓鬼道に落ちて苦しむ霊や、供養されずにさまよう無縁仏に飲食な
どの施しをします。その功德が施主やご先祖にまで及び、追善供養の回向(エコ
ー)となります。お盆の時期に行われますが、お盆とは別の由来を持つ仏事です。



仏教における餓鬼(がき)とは、六道の一つである餓鬼
道に落ちた存在を指します。生前に強欲で嫉妬深く、
むさぼる心を持っていた者が、その罪によって餓鬼道
に墮ちるとされています。餓鬼は常に飢えと渴きに苦
しみ、食べ物や飲み物でさえも得ることが難しく、満
たされることがない存在とされています。

提灯飾り

初盆のみ…
切子灯籠を一对飾ります。
長旅のなかようやく辿り着いた
我が家でゆっくりおやすみして
いただくための寝床になります。

初盆のみ…お迎え提灯(家紋なし)
8月1日から玄関先や軒先に吊るし
ます。※毎年飾るお家もあります。

初盆のみ…回転提灯
初盆を賑やかに
演出して故人様を
もてなします。

毎年飾る…家紋提灯
我が家の目印として
家紋を書いて準備します。

角香炉の使用について

～セッティング～



香炉に灰を7分目程入れます。
お香も入れます。
※焼香盆を使用することで
持ち運びやすく、床を汚しません。
焼香盆の上に角高炉・
マッチ・香炭を準備します。
(ライター)



ご寺院様の合図で香炭に
火を点けます。
ご寺院様が点けてくださる
場合もあります。
お香はひとつまみ1回～3回。
(宗派・状況によって異なります)
お香は30gで20～30人が
目安です。

～使用後 火の扱い～



使用済の香炭は数時間
放置してください。
中が赤くなっている間は
火が点いており動かすと
危険です。



完全に火が消えたら
香炭を取り除きます。

～片づけ手順～



アルミホイルを敷いて角香炉の
内側オトシのみ移します。
※角香炉の内側オトシは
取り外し出来ます。



使い捨てのスプーン等で香炭を
すくいアルミホイルに移します。
※使用済の香炭は型崩れやすく
箸ではきれいに
取り除けません。
アルミホイルの
上で移すことで
こぼれ火(飛び火)
を防げます。



取り除いた灰はアルミホイルに
包んで可燃ゴミとして納めます。

～香炉灰の整え方～



使用済の灰でも香炭等
きれいに取り除いてあれば
上に少量の新しい灰を
かぶせるだけで
問題なく使用
出来ます!!



灰を入れたら
上面を整えます。
平らな面で押さえれば
きれいになるので
使用済のはがきでも
充分整います。



香炉オトシの
内面に合わせて
数回押してください。



上面がキレイに整って
完成です!!



灰を整えたうえで
保管する場合は
サランラップを巻くと
湿気を防ぐことが出来ます。



次回の法要準備が
スムーズになります。

～お香は密封袋へ～



湿気を避けて
酸化を防ぐことで
香りを維持できます。

～お盆供養のおはなし～

お盆は、先祖のあの世での冥福を祈り、私たちが今生きていることへの感謝の心を持つときです。

※お盆は正式には盂蘭盆会(うらぼんえ)と言います。

インドの古語のUllambanaがなまって、漢字に音写した盂蘭盆を略してお盆になったと言われます。

お盆の行事は、目連尊者様の故事に由来します。

目連という方は仏陀の10人弟子の中で最も神通力の強い力を持つ方でした。

目連は神通力を使って母親の死後の世界を見ました。

母親は生前の罪業がたまって、餓鬼道に堕ち、飢えと渇きに苦しんでいました。

そんな母親を救おうと、その方法を仏陀にたずねたところ

「生前物惜しみをし、他人に施しをしなかった母親に代わって、大布施行を下さい」と言われました。

目連は師のことに従い僧侶の雨安居とよぶ3ヶ月の修行期間が終る7月15日多くの僧侶や、

貧困に苦しむ人々に、お金や食べ物、衣類を施しました。

この結果、母親は餓鬼道の苦しみからのがれることができたそうです。

この故事によって、日本の社会でも、自分たちの先祖が、

死後の悪い世界に堕ちない様にとお盆の行儀が行われてきたと言われます。

お盆のお供え物は、その起源が餓鬼道より帰った仏様を祀る行事だった関係から、
お彼岸よりもお供え物を多くする習慣が残されているようです。

～お彼岸供養のおはなし～

お彼岸には自分を反省し、先祖に感謝すると共に、家族そろってお墓参りをしましょう。

彼岸は春と秋に行います。

春の彼岸は3月20日頃(春分の日)・秋は9月23日頃(秋分の日)を中心にそれぞれ前後3日間行われます。

※中日は迷いと悟りの接する日です。

「春分の日」と「秋分の日」には、太陽は真東から出て真西に沈みます。

そして昼と夜の長さが同じになります。

迷いと悟り、この世とあの世、現実の世界と理想の世界の接する日でもあります。

そこでこの中日には浄土に生まれた先祖をしのび、今日ある自分を育ててくれた先祖に感謝し、

自らも彼岸に到達できるように精進することがすすめられている日です。

お墓参りはお中日に限らず、お彼岸中ならいつでも良いのです。

できるだけ家族そろって、墓石を洗い、お花やお線香をお供えしてください。

お水は故人様と縁の深い順に、満遍なく濡れるように掛けてあげてください。

そして墓所に六地藏様がいらっしゃるようでしたら少量のお線香・お花のお供えができるとお地藏様もきっと嬉しいですね。



素材について

陶器仏具 仏器・湯香等



陶土と呼ばれる精製した粘土。
1100度～1300度と高い高温でも耐える耐久性。
衝撃に弱く割れやすい。
多孔質で密度が低いため、吸収性があり何度も
使用することで味わいが出てくる。

プラスチック仏具 霊供膳・高月等



石油のもとである原油を加熱分解したナフサが
主原料。
ある程度の耐久性や防水性があり熱を加えることが
なければ形状も維持できます。

布製品 仏前布団・打敷 リン布団・空魚布団度



金襴は金を多く用いるため織物の中でも特に豪華な
つくり。
ちりめんは表面が凸凹することでしわがよりにくく
しなやかな風合いが特徴。
化繊は主に石油から人工的に作られた繊維。
色褪せが早い。

お手入れ方法

水洗い後は水気を拭きとり
ます。誤って落として欠けて
しまった場合はいつでも新
調してください。

水洗い後は放置しても
大丈夫。
熱に弱いので食洗器は
不可。

水洗い・クリーニング等不可
のため買替をお勧めします。
打敷の場合は裏打ち直しが
可能です。柔らかい素材の
ため、鼠・ゴキブリ等に生地を
食べられることもあります。

ご使用上の注意事項

仏具敷き・経机マットの役割

仏具敷き・経机マットは防災加工になっている為、お線香が
倒れても火が広がらないように火災防止としても使用します。
湿気が多い環境では仏具敷き・経机マットが湿気で水分を含み、
水を使用しない状態でも真鍮仏具が変色することがあります。



経机マット



仏具敷き

- 火立や前香炉は、ローソクやお線香に火を点けた状態で、持ち運ばないで下さい。
ローソクやお線香が床などに落ち、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 火立や前香炉をお使いいただく場合、ローソクや
お線香が消えてからも、しばらくの間、熱い場合が
あります。火傷をしないように、十分に冷めたことを
確認した上でお持ちください。
- お線香を一度にたくさん焚かないでください。
お線香が倒れやすくなったり、前香炉が高温に
なるため火災の原因になります。
- 商品には、漆・塗料・溶剤を使用しているものが
ございます。アレルギー体質の方はかぶれる
場合がありますのでご注意ください。

注意

ローソクはお仏壇の
大きさに合ったサイ
ズをご使用ください。
そしてお仏壇の戸
障子や欄間、他の
仏具などと十分な距
離をあけてください。



ローソク火消し (火を消す際に使用します)



ローソク火消し



ローソクの炎の上に被せる
ようにして火を消します。



使った直後、火消の被せた部分は熱く
熱を持っているため、受け皿があると
よいです。直接、経机マットの上に置く
と煤・焦げ目がつく事もあります。

注意

ローソクの火に息を吹きかけてはいけません。仏法では
人間の吐息は不浄(穢れ)とされるため仏様に対して失礼
な行為と考えられます。

※大切な仏具です。品質をご理解いただきお取り扱いにご注意ください。
※仏具に関しまして保証期間はございませんが、万が一、1年以内で不具合が生じることがありましたら担当スタッフまでお声掛けください。

仏具お取り扱い説明書

素材について

木製品

ご本尊・御位牌等



ご本尊…桧・柘植等材質は様々です。
仏身・後背・台座とパーツが分かれており光背のホゾを
台座の溝に差し込む形状になっており年数経過と共に、
木が痩せて光背が傾くことがあります。年輪・節が
有るのは木地の証です。

お位牌…木地の上に塗り・砥の粉・金箔が施されて
おります。
何度も塗りを重ねたり金箔も1号箔から4号箔までラン
クは様々です。年数を経た漆は硬くなり、戒名追加彫込
みの際、漆が取れてしまうことがあります。また、彫込み
直後の戒名は漆の下の方の砥の粉が白く出ますので先代
様の戒名と色目が異なります。戒名文字が茶色に変色
しているのは、長年に渡りお勤めしていただいた証です。

金箔部分について

金箔は10000万分の1mm～1.2mmの極薄の状態だ
す。箔押ししてある部分を拭くことで簡単に剥がれて下
の漆(黒色)部分が出てしまいます。

真鍮仏具

花立・火立・前香炉等



(金メッキ・フッ素)



(色付仏具)

銅に亜鉛を加えたものをベースとし製造方法に応じて
錫や鉛などを添加して使用します。
酸・アルカリの強い食品(果汁等)を長時間付着したま
まにしておいたり、それらの液体に浸したりしますと変色
する場合があります。

**手の油分やほこりなど表面に付着しますと
変色する場合があります。**

真鍮製品(加工無し)は酸化により色の変色がありま
すので何もしていなくても色が変わります。

そのため定期的なお磨きが必要です。

(金メッキ・フッ素・色付等加工された仏具はお磨き不要です。)

※長時間ご使用にならない場合は湿気を避けた冷暗所に
保管します。

銅合金

おりん



銅を主用とした成分に**ケイ素と錫**を含むことで鳴りを
作り出しています。様々な配合比率によって鳴りを調整
しています。また、素手で触ったり、水滴がついている状
態で放置すると緑青(ろくしょう)が生じやすくなります。

近年ではフッ素加工等コーティングされたおりんが主流
となっていますが昔からのおりんは加工がされていない
ため、大半のおりんが黒くなります。黒いのも年数の証だ
と考え、音色を重視していただき大切にお使いください。

お手入れ方法

細筆の毛先をほぐして優しく
なでるようにご本尊用として
準備されると良いでしょう。
水洗いは厳禁です。

空拭き・細筆で埃を落として
ください。金箔の部分は触ら
ず漆(黒色)部分を持つよう
にしましょう。

極力素手で触れない様にし
てください。剥がれてしまった
箇所は職人によって押し直
し修復します。

磨き仕上げ (加工無し)の場合

- ①専用の液体(テガール)
に数秒漬けて水ですすぐ。
- ②溝に残った汚れは研磨
剤の入った磨き粉(アルボ
ン)を金ブラシにつけて研ぎ
取る。
- ③新聞紙でこすり仕
上げ光沢をだす。

色付・金メッキ・フッ素 (コーティング)の場合

柔らかな布で空拭きしてくだ
さい。汚れが気になりましたら
職人に出します。

予めフッ素・金メッキ等、加
工された状態の場合は空拭
きしてください。フッ素加工
は5年程で剥がれる為、空
拭きで落とせない場合は職
人に磨き直し研磨依頼をし
てください。

構造上の注意事項

- お仏壇の膳引(ぜんび)きは、いっばいに引くと抜け落ちる場合がございます。家具調タイプの膳引きはストッパーが付いていることが多いです。
- お仏壇の棚が可動式の場合は確実に取付けてください。棚が外れますとお仏壇本体・仏具の破損またはケガ、床を傷つけてしまうことがあります。
- お仏壇の近くにストーブなど熱が当たらないようにご注意ください。
- お仏壇の前に置く経机に手をついて立ち上がったり、踏み台の代わりにするような体重をかけますとお経机の足が折れてケガをする恐れがあります。
- 花立、湯呑、仏器等は仏器膳や仏具敷きを使用して直接お仏壇に水気が付かない様にしてください。水に濡れた場合は、速やかに水分を拭きとってください。



膳引き



経机

無垢材の特徴と注意事項

- 無垢の木は数年ねかした材を使用しておりますが、生きておりますので湿気を吸ったり吐いたりし、伸び縮みをします。そのためご使用になる環境や気候により、反りや割れが生じる場合があります。温度や湿度の急激な変化のない場所、乾燥する季節には加湿器などのご使用をおすすめします。
- エアコンの吹き出し口の近くや直射日光も同様に避けて下さい。また、高温・多湿の部屋でのご仕様は、カビ・ダニが発生し健康を害する原因になりますのでお部屋の換気も十分にして下さい。
- 天板に直接、硬いものや濡れたもの、熱を持ったものを置くとシミや変色の原因になりますので仏具敷きマットのご利用をお勧めします。



鏡面・ウレタン(塗料)仕上げの特徴と注意事項

- 表面をウレタン塗料の皮膜で被った仕上げです。水分の吸収がないためシミが残らずお手入れが比較的に楽に行えるのが特徴です。
- 常にカラ拭きのお手入れですが汚れが気になる場合はよく絞った布で拭いて下さい。※長時間放置した場合、シミや褐色など跡が残る場合があります。
- 鏡のように磨き上げるので美しく仕上がりデザイン性が向上します。
- 硬いものとの接触や摩擦によって細かな傷がついてしまうことがあるためご注意ください。



金仏壇のお取り扱い注意事項

- 表面に金箔を押して仕上げてある為、金箔部分は触れずに漆部分のみ埃を取る程度にしましょう。
 - 金箔部分は拭き取ることで下地の漆部分が黒く見えてしまうため触れないようにします。
 - 漆部分の拭き取りは空拭きで水気のないようにします。
 - 金箔部分の汚れは職人の技で修復します。
- ※金箔は10000万分の1mm~1.2mmの極薄の高級品です。



水分が残った状態



金箔を拭いた状態



お仏壇も末永く綺麗に大切にしていだけるようサポートさせていただきます。

仏壇お取り扱い説明書

お手入れ方法

- お仏壇の中のご本尊、お位牌、仏具等、固定されていない高欄(こうらん)など、お掃除中に落下するものはすべて外に出してください。
- 柔らかい毛ばたきで上部から下部にかけて順番に埃を払います。その後、柔らかい布(乾いたもの)で拭いていきます。乾いた布でとれない汚れは、固く絞った布で一度軽く拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で表面の水気を取ってください。



高欄



- 金箔部分については布での拭き掃除はさけてください。埃が付着した時は毛はたきで軽く払ってください。

注意

金箔部分を指で触れないでください。変色の原因となります。毛はたきの羽根の軸が出ていると傷をつけますのでご注意ください。

照明器具

- 電球交換をするときは、今まで使用していたものと同じワット数(W)にしてください。器具の容量を超えたものを使用していると過熱し、火災の原因となります。
- プラグとコンセントの隙間にほこりがたまり、徐々に炭化してショートが起き火災の原因となります(トラッキング現象)。
- 火災防止のため、お仏壇から離れたときは、必ず照明器具を消してください。



この隙間は定期的に掃除をしてください。



同じワット数(W)にしてください。

安置場所について

× 熱気・乾燥

熱すぎる暖房は空気が乾き、木地にいたみが出て割れが生じます。

× 光・照明

基本的にどのような光も、お仏壇により影響はありません。特に直射日光や蛍光灯の紫外線を当て続けると、お仏壇の木地や塗り、打敷・リン布団等、布を変色させる原因となります。

× 湿度・水分

お仏壇の安置場所に湿気がこもると状況ですと、お仏壇の金具にさびが生じます。また、真鍮仏具も変色する場合があります。花立から水をこぼしたり、水分が付着した場合は必ず拭き取ってください。

× 床の傾き

お仏壇の重量でたわまない丈夫な床の上に水平に安置してください。傾いた場所に置くと、扉障子が勝手に開閉してしまうだけでなく引き出しの開閉に不具合が生じたり、お仏壇本体が変形し元に戻らなくなります。

× 塩分

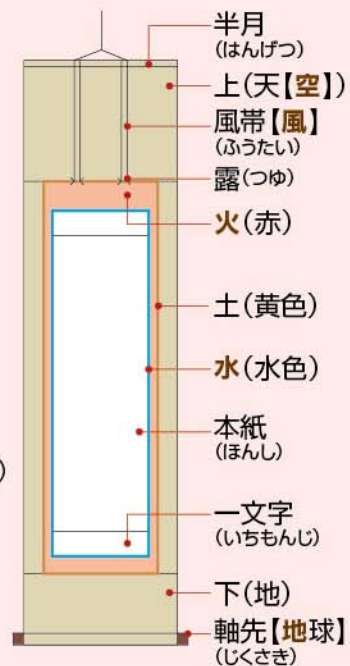
海岸沿い・温泉の近くなど潮風が当たるところでは、お仏壇の金具や金箔が錆びたり変色したりする事があります。酸やアルカリ、人の汗の塩分なども、いたみの原因となります。



～お年忌・お盆・彼岸に掛ける掛軸～

～本仏表装(仏様の正式な表装)の意味～

本仏表装は仏様そのものを宇宙環境で
生命の五大要素(地水火風空)で表現しています。
本紙の上に天(空)、そして半月で月を表し、風帯が風を表しています。
木々に降り注いだ雨が風になびき露となり地上に落ちます。
その露が集まり川となり、土壌や木々を育みます。
本紙より下には地があり、軸先で土壌や木々、地球を表現しています。
本仏表装は本紙の周りを二重の筋廻しが施されており
一つは土を表し(正式には黄色…最近では白系で表装)
もう一つは水を表しています。(正式には水色…最近では紺色系で表装)
一文字廻しに雲柄を使用するのは仏様が雲の上に立っている(空に浮いている)
お姿を想像しているからです。そしてその際、
火を表す赤で表装されるものが多いです。



～お題目の意味～

浄土宗・浄土真宗の方 〰南無阿弥陀仏、

阿弥陀様を帰依する、阿弥陀様に全ておまかせします。の意味。

南無…敬う、帰依する 阿弥陀仏…阿弥陀如来

お仏壇の普及以前の室町時代、貧困や疫病に苦しむ姿を目にした中興の祖〰蓮如上人、は1人でも多くの方を救ってあげたい想いから〰南無阿弥陀仏、と書いた紙を何千人もの方に配ったそうです。

当時、むしろの上に紙を敷いて〰南無阿弥陀仏、と書いた書はむしろの上で書いた筆跡が虎の模様のように見えることから現在は虎班の名号と呼ばれ仏教法宝物とされています。

臨済宗・禅宗・曹洞宗の方 〰南無釈迦無尼仏、

お釈迦様を帰依する、尊敬しています。の意味。

真言宗の方 〰南無大師遍照金剛、

弘法大師様を敬っています。という想いを掛軸で伝えています。



日蓮宗の方 〰南無妙法蓮華經、

南無妙法蓮華經…妙法蓮華經(法華經)に帰依する、おまかせする。という意味。お釈迦様がお説きになった「法華經」という經典には帰依する、おまかせするだけの力があるとの信心から、日蓮上人は「妙法蓮華經」に南無とつけたお題目をつくられたそうです。
妙法蓮華經とは…妙法は真理 蓮華は蓮の花
(つまり蓮の花のような真理をといたお経といわれています。)

←日蓮宗の髭題目

〰法、の字以外の6文字の筆端をひげのように伸ばして書いたもの。
〰法の光を受けて万物が真理の活動に入る姿、を表した文字です。

↑臨滅度時本尊
多くの仏様が集結した法華曼荼羅が書かれています。

宗派によってお題目が異なります。掛軸も奥がふかいですね!(^^)!

～掛軸の用途～

掛軸はさまざまな行事や、季節ごとの掛け替えを楽しみながら四季の移ろいを感じることができる大切なものです。
また、来訪されたお客様をおもてなしするためにも多く用いられるものです。

年中掛け	おもてなし	牡丹・四季花・山水	行事に合わせて	結納	高砂
	縁起	梟(ふくろう)・六瓢・竹・富士・龍・虎		冠 賀寿	高砂・松竹梅鶴亀
季節に合わせて	茶掛け	書・茶碗	宗派に合わせて	神道系	御神号(天照皇大神)
	春	桜・藤・牡丹・菖蒲	お年忌・お盆・ お彼岸に 掛けます	浄土宗・浄土真宗	六字名号・仏説阿弥陀経・正信念仏偈(正信偈)
	夏	川蝉・紫陽花・金魚・鮎・蛭・朝顔・鉄線花・鯉・白鷺・蛭		臨済宗・禅宗・曹洞宗	釈迦名号・十三佛・だるま・般若心経
	秋	紅葉・稲穂・柘榴(ざくろ)・秋桜・菊・桔梗(うすら)・秋草		真言宗	御宝号・般若心経・真言十三佛
	冬	南天・紅白梅・鶯・椿・水仙・松竹梅		日蓮宗	日蓮名号・日蓮曼荼羅
			全宗派対応	ハスの花・聖観音	

四季花 年中掛け／おもてなし用

花の王様といわれる牡丹を中心に四季折々の代表的な花を一幅に収めた作品。
春夏秋冬の花々が薫り高く漂いそれぞれの生命の息吹を感じさせ、
見る人の心を生き生きとさせてくれます。
自然の中では一度に咲きそろうことのない花々が共演する
華やかな世界をお楽しみください。



六瓢筆 年中掛け／縁起物

六つの瓢筆が実った両柄「六瓢」は「無病」に通じます。
ご家族の皆様が病氣や怪我なく健康で過ごせるよう健康長寿と家内円満を表しています。未広がりの形の瓢筆は、気を貯める道具としても使われ、財運をもたらすとされています。
つるが伸びて実が鈴なりになる様から
開運招福・子孫繁栄の象徴ともされています。
健康と開運への祈りが込められた縁起のよい掛軸です。

南天 冬用／縁起物

南天は〰難を転じて福となす、に通じることから縁起物としてお正月にかけられることが多いです。
※南天と一緒に描かれた雀は難をつまんでいるそうです(^^)

梅 冬用／縁起物

百花に先がけて年明け最初に花を咲かせる梅は、厳寒の中においても見事に花を咲かせることから忍耐強さと大願成就に繋がるといわれています。
※梅と一緒に描かれた鶯(ウグイス)は春の訪れを感じさせています。



蓮 夏用／仏事掛け(全宗派対応)

〰三世の蓮、は親・自分・子現在・過去・未来を表現して描かれています。
蓮のつぼみは〰これからどんな姿をみられるか待ち遠しい未来がある子供、
綺麗に花を咲かせた蓮は〰今必死に生きている自分の姿、
そして花卉が落ち始めたハスは〰いろんな人生を経験した親の姿、

一般的には三世の蓮のみ描かれていますが
こちらの作家さんは少し物語が続きます。
左下に重なった花卉は親子手を取り合って助けあえるように。
そして雲をよく見ると“心”という字が描かれています。
三世代手を取り合って想いを繋ぐその心を大切にしていけるように願った素敵な掛軸です。



～ じえい ちんそう 似影・頂相～

禅宗では祖師や師僧の肖像のことを特に「**頂相**」と呼び、これを祖師・師僧そのものとして大切にされています。
浄土真宗では肖像のことを「**似影**」と呼ばれます。

西本願寺のご院主様

頭上には院号法名が書かれます。
法衣の襟が立て襟になっているものの特徴です。



真宗大谷派のご院主様

お写真を基に似顔絵を作成します。
衣の色目はご希望に合わせて仕上げていきます。



禅宗の方丈様

払子や笏、竹篋などの持ち物は
指定いただき書き加えます。→
仏具を持ち、曲祿に座った構図が多いです。
似顔絵の上部は空白で作成されますが
納品後、管主様・老師様が「讃」を
書き加えられ完成となります。

↓ 納品時、上部は空白です。



「**讃**」が書かれた完成品→
※讃とは生前の功績を称えた文章

情報が提供しやすくなった今、肖像画の作成はLINEのやり取りで迅速に打合せが出来ます。弊社の依頼する京都の職人さん(一級表具技能士)は、衣や袈裟、数珠や如意の持ち方、配色の有り方など細かく納得出来る仕上りに応えてくださいます!!(作成期間約3ヶ月～)

～ 掛軸の表装～



院号法名表具

原紙をお預かりして金欄にて表装していきます。
真宗大谷派の方はご院主様に書いていただいた「**法名**」の原紙をご持参ください。
約1ヶ月程の納期で※法名軸に表装させていただきます。
※法名軸とは法名を軸にしたものでお仏壇の側面に掛けます。

霊場印譜表装

四国八十八ヶ所や西国三十三ヶ所でいただいた御朱印は棺の中に入れてほしいぐらい尊いものです。
何万歩も歩いて完成した大切な御朱印軸の本紙をお預かりして本仏表装させていただきます。
表装の裂地はセンスと腕の良い一級表装技能士にお任せください(^^)
表装の仕上りは1ヶ月～



～ 掛軸の修復～

一級表装技能士により丁寧に修復させていただきます。 納期約1ヶ月～
弊社で表装されたものについては「証明書」を発行しております。
お仏壇塗替えのお客様はご本尊様の修復をお勧めしています。
原紙は今までの重みを残して表装修復させていただくだけでも本当に甦ります!!

※一級表装技能士とは厚生労働省が推奨する技能検定二級に合格し、その後実務経験を7年以上経て検定試験を合格した職人。産業技術の安定と向上を目的とし、今後の技能の劣化防止と品質向上を図るために設けられた難易度の高い国家資格。



～ 修復例～

天照皇大神

本紙のみお預かり(表装されていない状態)

本紙のシミは、シミ抜きをして統一した色目にします。
表装には正絹・化繊と2種類あり経年劣化は同じですが
正絹は生地に光沢があります。神道は白が一般的、ベージュ系もありますが正式には白をお勧めしています。
軸先は神道なので白木(木)になります。
こちらの掛軸には朝日も描かれていることから
最もお正月にふさわしい掛軸となります。

天照皇大神&朝日／こちらのお軸はお正月用です。

※初代荒木田神主様の書は拝見出来る機会がなく
本当に貴重な有り難いお軸でした。
※荒木田氏／伊勢神宮の内宮に仕えた歴代の禰宜様



高祖承陽大師御真影御絵傳(道元禪師一代記)

長年巻いたままの管理のためシワがより、 本紙に亀裂が入り所々破れている状態。

掛軸の裏には裏書が記されており、表装後もそのまま残せるように①裏書き再埋め込みがされています。
割れ本紙／②裏側折れ伏せ修復→
軸先は③金具打ち
全体的に荘厳な仕上りの④**本仏表装**で修復されました。



念珠の持ち方

～片手用（略式念珠）～

正式百八の珠数を略した仕立。どの宗派の方でも大丈夫です。

男性は念珠袋を持つ方が少なく、ポケットに入れる為、房がしわしわになります。最近では房が型崩れしない様に丸めた形の念珠が増えてきています。

（※房はその昔、遺体に寄って来る虫を払う使い方をしていました。今では虫が寄り付く環境ではないためデザインが変わってきました。）

女性は念珠袋に入れて持ち歩く為、房の形はそのままです。

持ち方



左手（聞き手の逆）の親指と人差し指の間にかけ房は下に垂らします。

合掌のとき



左手に念珠をかけ、そのまま右手を添えます。房は下に垂らします。

念珠の持ち方は宗派によって異なります。こちらの資料はあくまでも参考として正しくは、菩提寺のご住職様にお聞きください。

～八宗用～

八宗とは…平安時代までに日本に伝来した仏教の八つの宗派

天台宗・真言宗・浄土宗・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・臨済宗・曹洞宗・日蓮宗

振分念珠

真言宗の本連と同じ仕立（親玉から七つ目と二十一個目に天玉が入ります。）
日蓮宗以外の宗派の方が共通して使える百八玉そろった正式念珠。

持ち方



二連にして左手の親指と人差し指の間にかけ房は下に垂らします。

合掌のとき



左手に念珠をかけ、そのまま右手を添えます。房は下に垂らします。

念珠の起源

念珠の起源は諸説ありますが、このお話はそのうちの一つです。
古代インドの王様がお釈迦様のもとにやってきてこう尋ねました。
「私の国では戦争が絶えず、作物も実らず疫病が流行し、国を治めることが困難で困り果てています。一体どうすればいいのか？」
すると、お釈迦さまは
「無患子^{※ムクロジ}の実を百八個集めつないで連珠を作り、それをいつも手にし心から念仏を唱えなさい。そうすれば自然と心が静まり、悩みは除かれ正しい道に向かうことができるでしょう」と、お仰せになりました。

※無患子：羽子板の羽の重しになっている木の実（黒玉）のことです。

助言をいただいた王様は大変喜び、無患子の実で千本の連珠を作り、皆に配りました。

念珠を手にした人々は心から念仏を唱え続けました。

まもなく、作物が実り、疫病も退散して国王を始め人々は幸せになりました。

この連珠が、念珠の始まりだと言われています。

その後、仏教が発展すると、唱えたお経を数えるための役割や

玉の一つ一つに意味付けがされるなど、時代とともに発展しました。

日本では、鎌倉時代に仏教の発展とともに普及し、江戸時代に入ると

幕府の保護もあり一般にも広く持たれるようになったそうです。

娘が嫁ぐので…。息子が車に乗るようになったから…。

いろんなきっかけでお念珠を求めに來られるお客様方。

親として子を思う気持ちに共通するのは

「我が子に幸せになって欲しい」という想いです😊

親になってみて気がつく。

何気なく用意されたそのお念珠には、たくさんの愛が想いが込められていたことを。

お念珠とは…

諸仏・諸菩薩の誓いと願いが結集した法具です。

①親玉

T字型に穴のあいた大きな珠。二連の場合は結びのある方を親玉、浄明玉のある方を母珠といいます。お釈迦さま・阿弥陀さま・あるいは法（達磨）と解釈します。

②主玉

百八玉（煩惱の数）が正式となります。
一粒一粒に諸仏・諸菩薩の名前が当てはめられています。

③天玉^{（四天）}

主玉より小さく主玉が百八玉の場合四つあります。略式の短い念珠では二つなので二天となります。仏法を護るために寺院の四隅を固めている四天王（東＝持国天、南＝増長天、西＝広目天、北＝多聞天）です。

④浄明玉

親玉と弟子玉の間にある小さな玉。補処の菩薩と呼ばれて、前任者から引き継いで、衆生を救済する菩薩を表します。（親玉が阿弥陀様なら浄明玉は観音様、お釈迦様なら弥勒菩薩様）

⑤弟子玉

親玉のほうに記子という二十顆の珠がついています。
真言や陀羅尼をと念う時に数を計算するためです。

⑥露玉

それを留める珠を露玉と呼びます。
（露が滴っている形をしているからです。）



～浄土宗～



本連でも百八玉ではございません。

念仏の一つ一つが、無量寿・無量光の阿弥陀如来への感謝であり、自らの懺悔でもあったため「一日に〇回の念仏を唱えます」と、日課誓約をして、お念仏に励むことから数取り出来る形(二つの輪を交差させた独特な形状)になっています。

また、本連念珠を持つことが檀家様・信徒様の心得とされており浄土宗のお檀家さまは本連念珠を持たれる方が多いです。

男性用 主玉27×主玉20×弟子玉10×弟子玉6=32,400回
女性用 主玉40×主玉27×弟子玉10×弟子玉6=64,800回
男性用は三万浄土・女性用は六万浄土とも呼ばれています。

合掌のとき



- ①二連にして両手の親指にかけ、房を垂らします。
- ②親玉をそろえ、親指で押さえるようにします。

お念仏を唱えるとき



- ①二十七顆(主玉が同じ大きさで繋がっているほう)を親指と人差し指の間にかける。
- ②二十顆(主玉が大小になっているほう)を人差し指と中指の間にかける。
- ③そのまま握り、念仏を唱えます。
- ④念仏のたびに親指で手前に繰ります。

～真言宗～



密教では、念珠を擦り鳴らして音をたてます。

百八煩惱をすり碎き、百八菩提の清浄な光明を磨き出すことだと考えてください。百八の数は、金剛界の百八尊。親玉は大日如来の智慧を表わし、四天は宇宙を表現した曼荼羅の四方四仏(弥陀・宝生・阿しゅく・釈迦)又は、普賢・観音・文殊・弥勒の四菩薩という解釈をします。

合掌のとき



- ①念珠を両手の中指にかけます。
- ②そのまま手を合わせます。

自分の為の行のとき



- ①房を手のひらの内に入れます。
- ②そのまま房を包むようにして合掌します。

持ち方



- ①親玉を上にして二連にしてかけ
- ②房を握るようにします。

～禅宗・曹洞宗・臨済宗～

禅宗系はお念仏やお題目を唱えず、自己と向かい合う座禅を重んじるため念珠の作法にも規定はありません。

禅宗・曹洞宗

親玉をお釈迦様とし、母玉を地藏様とします。百八煩惱(主玉)の数に六道界を等分に配するように四天(天玉)が配置されています。(六道…修羅・人間・天上・地獄・餓鬼・畜生)また、曹洞宗の念珠には環がついています。環の意味合いは諸説ありますが、和を表していると考えられています。

臨済宗

曹洞宗とよく似ていますが、主玉と四天玉の配置が異なり環はありません。

持ち方



主玉が百八個の一連を二連にして用います。

合掌のとき



二連にして左手の親指と人差し指の間にかけ房は下に垂らします。



左手に念珠をかけ、そのまま右手を添えます。房は下に垂らします。



曹洞宗用の環

～日蓮宗～

念珠の四天は、末世に法華經を伝える四人の菩薩を意味し、四菩薩と読んでいます。

御祈禱の際、木剣と念珠を組み合わせたものを打ち鳴らすため、黒檀・紫檀のような堅くて丈夫な材質のものが選ばれます。

持ち方



二連にして左手の親指と人差し指の間に持ち房は下に垂らします。

合掌のとき



二連にして、左手の四指に掛けます。
※特に念を込める時には、両手に掛けることもあります。房は下に垂らします。

お題目を唱えるとき



房が三つある方を左手の中指にかけ、ひとひねりしてからもう片方を右手の中指にかけます。房を手の甲に垂らして、そのまま手を合わせます。





田中仏具店グループに 届けられた 会員様の声



S様 豊川市【仏壇部】

昨年母と娘が亡くなりました。何も知らない私に色々とお親切に対応して頂きとても感謝しています。スタッフの皆様の心使いが感じられうれしく思います。本当にありがとうございます。

N様 豊川市【仏壇部】

時々お線香をいただきに伺うくらいですが、店員の方がとても優しく接して下さるので良いお店だなと思っています。

T様 豊川市【仏壇部・葬祭部】

主人の葬儀の時、エコーさんにとてもお世話になりました。その後仏だんを購入する時には田中仏具店さんにお世話になり、どちらの方もとても親切にして頂き、ほんとに助かりました。ありがとうございました。

K様 豊川市【仏壇部・葬祭部】

父が5年前他界し、残念なことに取り壊されてしまった八幡エコー会館さんに大変お世話になりました。母も認知症になり、施設にお世話になっており、この会報誌で作法などの知識をおしえてもらい大変ありがたく思います。毎回たのしみしております。

M様 豊橋市【仏壇部】

今年始め仏壇を焦がしてしまいました。どの様にすれば良いのか福井店長に相談すると迅速に対処して修理内容を確定し不安を解消してもらいました。出来上がりは大変満足するものでした。

H様 豊川市【仏壇部】

去年の春に仏だんを小さい物に買い替えました。その際に対応して下さった方々がとても親切で感激した事を今でも忘れませんありがとうございました。

N様 豊川市【仏壇部】

豊川高校卒業生として「豊川閻魔寺」が紹介されて、うれしくかつ、わかりやすい記事だと思います。又、仏壇の取り扱いの紹介がていねいで良い。お盆特集は初盆のお宅にとっては、わかりやすくて参考になったと思います。今後もわかりやすい内容記事をお願いします。

I様 豊川市【仏壇部】

お霊供膳の事が詳しく説明してありとても参考になりました。片口もいつも適当なお皿に水を入れていましたが、これを見てすぐ購入しました。今、お米が高く貴重なので当たると嬉しいです。

B様 豊川市【仏壇部】

いつもお世話になっています。ありがとうございます。11年前に父が亡くなり御仏壇を購入以来みなさんに本当に良くして頂いています。お線香やろうそくはもちろん雑貨も素敵で心安らぐ店内、優しい皆様、また伺います。

S様 豊川市【仏壇部】

仏壇取り扱い説明書等は、大変ありがたく参考にさせて頂いております。仏壇の引き出しに保存しておこうと思います。

次ページにも
掲載していますので
ご覧ください



～浄土真宗本願寺派・真宗大谷派・真宗高田派～

ちゃんと
門徒さんへ

真宗では念仏をとなえることは阿弥陀さまへの感謝であり、行とは考えませんので数取りできないように『蓮如結び』という紐の結び方をします。男性は主玉が大きくなる為、百八ではなく略式の片手、紐房になります。



持ち方



男性・女性共に房を下にします。

合掌のとき（片手の持ち方）



※東本願寺と
西本願寺は
どちらも同じです。
両手にかけます。

合掌のとき（二連の持ち方）

※東本願寺と西本願寺で持ち方が異なります。

東本願寺(大谷派)の持ち方



二連を両手にかけ、房を左側に垂らします。そして、親玉をそろえて親指ではさむようにします。

西本願寺(本願寺派)・高田派の持ち方



両手にかけ房を下に垂らします。

念珠の修理承ります

お客様の大切な念珠を丁寧に修理いたします

念珠も長年ご愛用頂きますと劣化し、切れたり壊れたりしますが念珠もご縁ある物ですから修理して再びご愛用ください。



念珠の供養承ります

数珠供養会

聖徳太子ご健立
(日本仏法最初の官寺)
四天王寺にて

毎年
10月10日

※豊川本店受付9月25日迄となります。





I様 新城市【仏壇部】

「想い」はいつも参考になる事ばかりで特典も、家の近くのとみかわやさんで利用できたり、毎号、すみずみまで拝読し、勉強させて頂いています。

H様 安城市【仏壇部】

先祖のお墓が小坂井の東漸寺にあり今回お寺の紹介で田中仏具店にお世話になりました。若い世代で知らない事が多いのですが、スタッフの方にはいろいろ教えて頂きありがとうございました。

H様 豊川市【葬祭部】

両親の葬儀、法事では大変お世話になりました。以来、知人や親族の法事等、困った時には相談に乗っていただき助かっております。これからも頼りにしています。

S様 豊川市【仏壇部】

お盆を迎えるにあたり、ご寺院様をおもてなしする品、松明、供膳の並べ方等等冊子の中に盛り込んでくださり毎年お迎える以上に、初盆でお迎えした心の様に仏様との心のつながりを持ちながら1つ1つ準備させてもらいたいと思います。

K様 豊川市【葬祭部】

お盆飾りやご寺院様をお迎える際に用意する小物等ずいぶん勉強になりました。長い間続いていると各所に自分流になってしまっている所があります。また源点に戻り、正しい方法でお迎えしたいと思います。

S様 豊川市【仏壇部】

仏壇を用意する際、丁寧な説明でとても分かりやすかったです。これからもお世話になることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。



お客様へ

お盆・お彼岸・お正月と日本には四季折々の伝統的な文化があります。その中でも祖先の御霊を供養する行事に関して、戸惑うこともあると思います。そんな時は神社の宮司様・菩提寺のご住職様にお知恵をいただくのが理想です。冊子の内容はサポートとして、いつでも確認できるように保管いただければ幸いです。今まで会報誌を通じて多数の激励のお言葉を頂戴し本当にありがとうございました。これからも皆様が笑顔になれるよう田中仏具店スタッフ一同、末永くお力になれるよう全力で精進致しますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。



Instagramでの当選者発表の様子



M様 蒲郡市【仏壇部】

今回お盆飾りがとても参考になった。ネットとか調べてもわからなかったけれど、エリアごとに説明してあり、助かりました。

M様 豊川市【葬祭部】

令和3年4月…父の葬儀の際、コロナ禍でもあり『家族葬』というシステムが未だ整っていない中こちらの勝手な要望にもかかわらず、心のこもった濃やかな対応をして下さり最高の見送りが出来たと家族一同感謝しています。

H様 新城市【仏壇部】

生前に父が購入した仏壇が形や色がとても良く大変気に入っています。一家の宝物の一つとして大切にしたいと思います。

H様 湖西市【仏壇部・葬祭部】

3月の葬儀でお世話になりありがとうございました。あわただしい中、お顔見知りの方にお会いでき、アドバイスをいただき、安心してお任せでき、助かりました。初盆もよろしくお願い致します。会報誌を見るたび仏様の事を想う良い機会が出来ます。ありがとうございます。

T様 湖西市【葬祭部】

我が家では2009年に1回 2012年に2回お通夜葬儀でお世話になりました。スタッフのお心遣いに感謝しています。2009年の息子の葬儀の時には息子の母校までバスで回ってくれた事忘れません。ありがとう。

S様 豊川市【仏壇部】

平成12年に義父がそして夫も我が家は早くも男性2人を見送ってしまいましたがその節には田中様に随分お世話になりました。いろいろありがとうございました。信仰心の足りない嫁の私も、いつの間にか年を重ねて先祖を偲ぶ毎日となりつつあります。

I様 湖西市【仏壇部】

御寺院紹介・豊川閻魔寺はとても楽しく読ませていただきました私もおひろめで紹介していただきお念珠もいただきましたが由来も知らずにいて益々大切にしていきたいです。ありがとうございました。

I様 蒲郡市【仏壇部】

「想い」をありがたく拝見しています。知らない事を教えて頂きやさしい気持ちになります。今後よろしくお願い致します。

S様 豊川市【仏壇部】

会報の記事で仏事の知識について、いつも興味深く拝読いたしております。春夏号で「お懐紙」の慶弔で異なることを初めて知り、とても参考になりました。

H様 豊川市【仏壇部】

豊川に長く住んでいますが改めて豊川閻魔寺の記事に興味深く読ませていただきました。毎号地元の記事と情報が記載されているので楽しみに読んでいます。

T様 豊川市【仏壇部】

「想い」本当に参考になります次の代の息子が困らないようにせつに保管してあります。



田中仏具店グループ 年間スケジュール



葬祭部

初盆展示会

湖西会館

6月・7月の第1友引



人形供養祭

岩田会館 3月・6月・9月・12月の第2友引

湖西会館 3月・9月の第3友引

(豊川本店受付/開催月の第1友引迄)

目を閉じて安らかに

「今までありがとう」
「目を閉じて安らかに」という
心を込めてお人形さんのお
顔に紙を巻いて
丁寧にお焚き上げを
させていただきます



仏壇・仏具・墓石・葬祭のご相談は
「田中仏具店グループ」にお任せください

仏壇部

春彼岸売出し

2月

第1土曜日～
3月23日迄



盆提灯展示会

5月

第2土曜日～
8月15日迄



お盆売出し

7月

第1土曜日～
8月15日迄



秋彼岸売出し

9月

第1土曜日～
9月23日迄



数珠供養会

10月10日

聖徳太子ご健立
(日本仏法最初の官寺)
四天王寺にて

(豊川本店受付9月25日迄となります。)



株式会社 田中仏具店

〒豊川市東豊町5丁目11番地

TEL 0533-86-5709

営 10:00～17:00 休 水曜日

2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門



社員の健康づくりに取り組む事業所



岩田エコー会館

〒豊橋市中岩田5丁目1-2
運動公園前駅より徒歩10分

TEL 0120-65-9595



湖西エコー会館

〒湖西市鷺津391-1
鷺津駅より徒歩8分

TEL 0120-44-3225



エコー葬祭では
寺葬用葬儀プランも
ご用意しています

えこう【回向】故人の成仏を願って仏事供養をすること